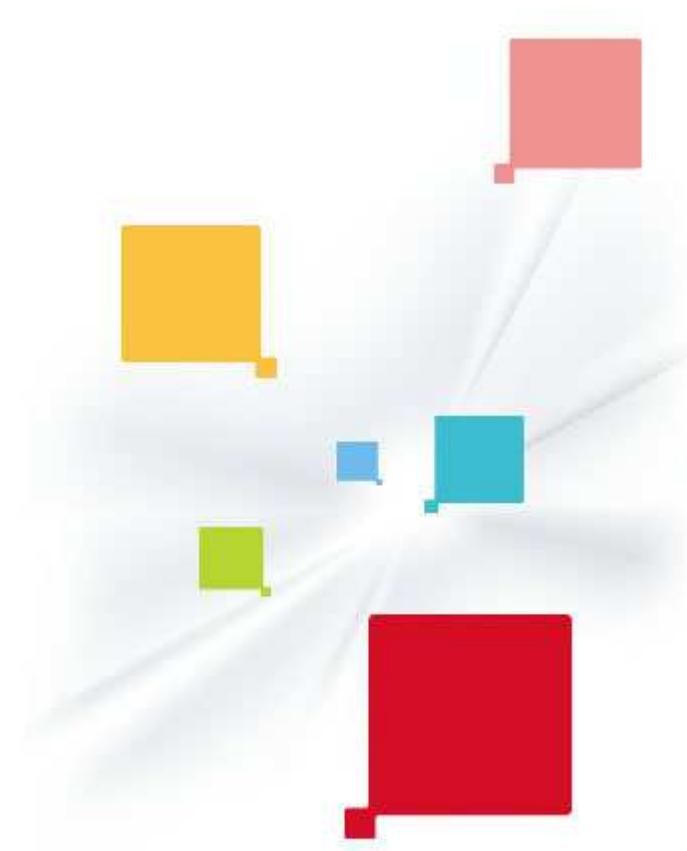


# FY2023 Q1 決算概要

2023年 8月8日  
株式会社リコー



本資料に記載されている、リコー(以下、当社)の現在の計画、見通し、戦略などのうち、歴史的事実でないものは、将来の業績に関する見通しであり、現在入手可能な情報から得られた当社の経営者の判断に基づいております。従って、実際の業績は異なる結果となる場合がありますので、これらの業績見通しにのみ全面的に依拠なさないようお願い致します。

実際の業績に影響を与えうる重要な要素には、a) 当社の事業領域を取り巻く経済情勢、景気動向、b) 為替レートの変動、c) 当社の事業領域に関連して発生する急速な技術革新、d) 激しい競争にさらされた市場の中で、顧客に受け入れられる製品・サービスを当社が設計・開発・生産し続ける能力、などが含まれます。ただし、業績に影響を与えうる要素はこれらに限定されるものではありません。  
(参照：「事業等のリスク」<https://jp.ricoh.com/IR/risk.html>)

本資料に他の会社・機関等の名称が掲載されている場合といえども、これらの会社・機関等の利用を当社が推奨するものではありません。本資料に掲載されている情報は、投資勧誘を目的にしたものではありません。投資に関するご決定は、ご自身のご判断において行うようお願い致します。

**本資料における年号の表記：4月から始まる会計年度の表記としております。**  
(例) FY2023 (2023年度)：2023年4月から2024年3月までの会計年度

## 事業区分の変更等について

当連結会計年度より、その他分野のPFU事業および一部共通費用を、リコーデジタルプロダクツとリコーデジタルサービスに事業区分変更を行いました。

# FY2023 Q1 決算概要

## 業績

- 増収増益、全体的には想定の四半期推移  
リコーデジタルプロダクツは生産調整や製品ミックスなどの影響があったが、リコーデジタルサービスでは製品供給制約からの回復や注残解消などによりオフィスプリンティング ハードが増収、オフィスサービスも引き続き成長
- オフィスサービスは増収増益  
日本はスクラムシリーズが好調、55%の大幅増収  
欧州も買収企業中心に引き続き堅調  
ストック売上23%増収、順調に拡大
- リコーグラフィックコミュニケーションズは増収増益
- リコーインダストリアルソリューションズはサーマル事業の市場在庫調整等により苦戦

## 見通し

- 2023年度見通しは変更なし
- PFU等のセグメント区分変更に伴い、セグメントごとの見通し・要因別営業利益を調整

# 連結損益計算書

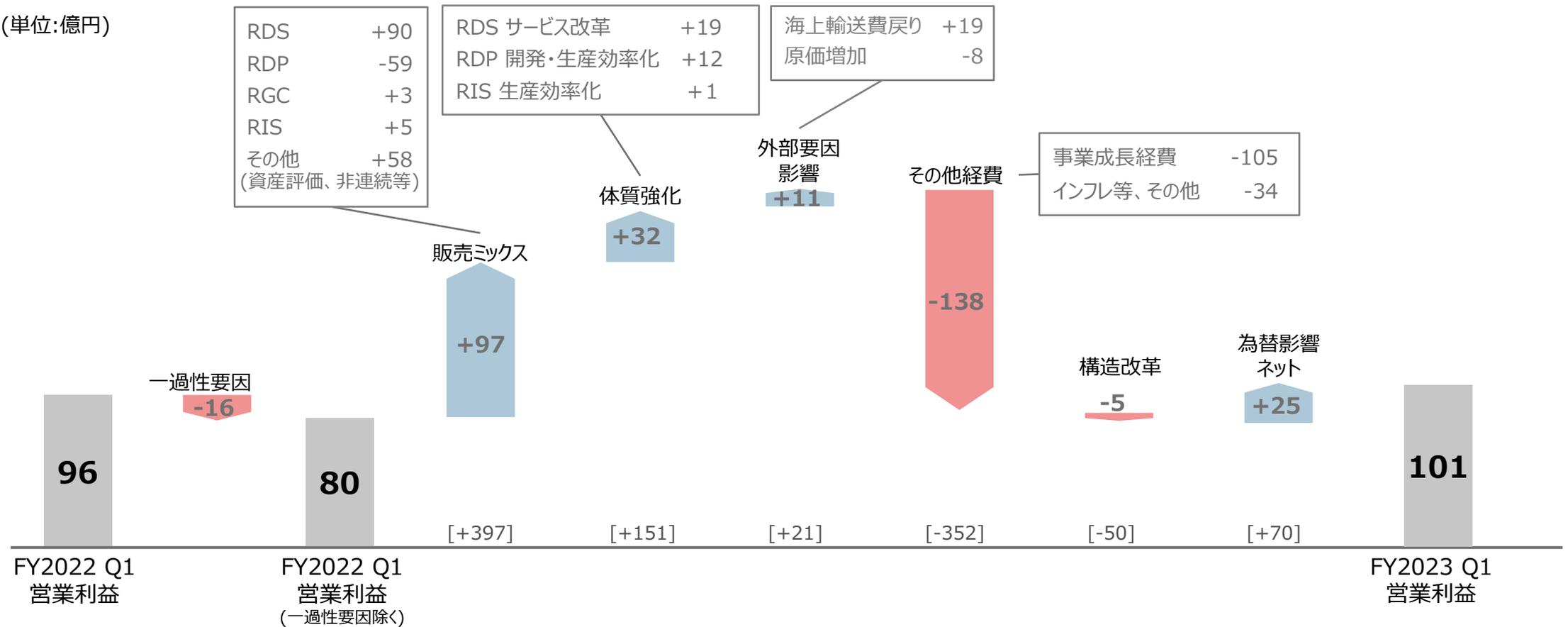
	FY2022 Q1	FY2023 Q1	前年同期比	
<b>売上高</b>	4,593億円	<b>5,346</b> 億円	<b>+752</b> 億円	+16.4%
売上総利益	1,680億円 (36.6%)	1,901億円 (35.6%)	+221億円	+13.2%
販管費等	1,583億円 (34.5%)	1,800億円 (33.7%)	+216億円	+13.7%
<b>営業利益</b>	96億円	<b>101</b> 億円	<b>+5</b> 億円	+5.7%
営業利益率	2.1%	1.9%	-0.2pt	-
親会社の所有者に帰属する <b>当期利益</b>	75億円	<b>87</b> 億円	<b>+12</b> 億円	+15.9%
EPS	11.98円	14.44円	+2.46円	
期中平均 為替レート	1USDドル 17-0	129.51円 138.02円	+7.79円 +11.48円	
研究開発投資	231億円	260億円	+29億円	
設備投資 (有形固定資産)	82億円	105億円	+23億円	
減価償却費 (有形固定資産)	101億円	107億円	+5億円	

# 要因別営業利益

- ✓ 販売ミックスは、RDPが生産調整等で下振れも、RDSのOPハード・OSの伸長により吸収し、想定の進捗
- ✓ 体質強化、構造改革(RGC拠点再編)は計画通りに進捗

## 【前年からの増減】

(単位:億円)

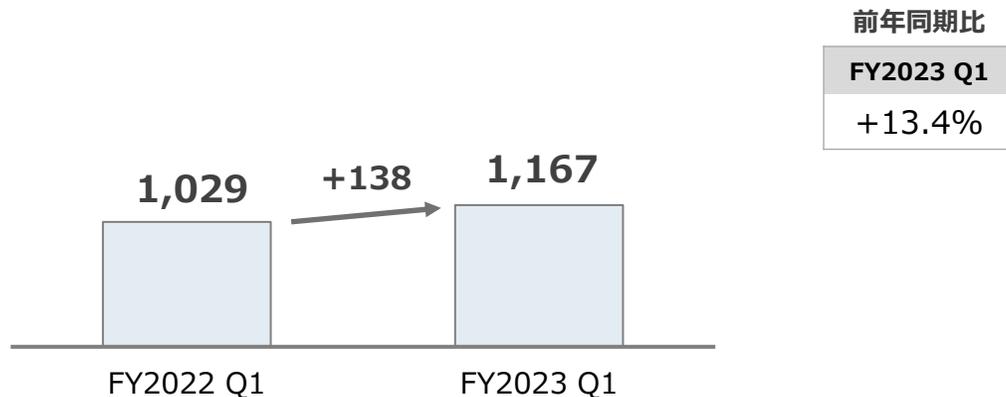


[ ] : 通期見通し

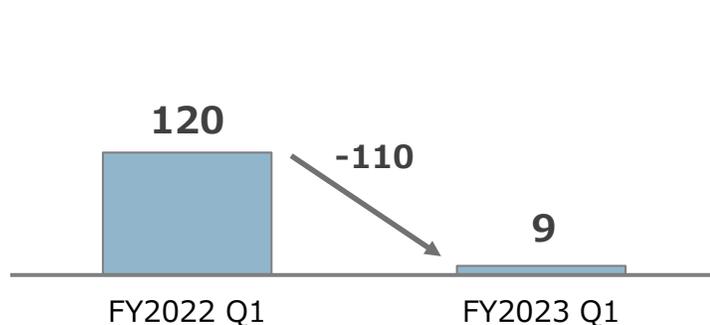
# リコーデジタルプロダクツ

A3MFP生産調整、A4MFP増産等により増収減益

## 売上高 (億円)



## 営業利益 (億円)



## 概況

- A3MFPは生産調整により、RDSへの内売減少
- A4MFPの供給制約ほぼ解消
- 体質強化は計画通り進捗
  
- 東芝テック社とのジョイントベンチャー組成計画を発表  
FY2024の組成にむけ部門横断で準備を開始

### ジョイントベンチャー概要

- 複合機を中心としたエッジデバイスの開発と生産を一貫して行う  
出資比率 : リコー85% 東芝テック15%
- 狙い
  - ✓ 技術シナジーの創出による魅力ある商品の開発
  - ✓ スケールメリットによるコスト競争力の強化
  - ✓ 生産拠点の最適化による安定した製品供給の担保
- 時期
  - ✓ FY2024Q1を予定

※その他に計上していたPFU事業の一部をリコーデジタルプロダクツに移管。

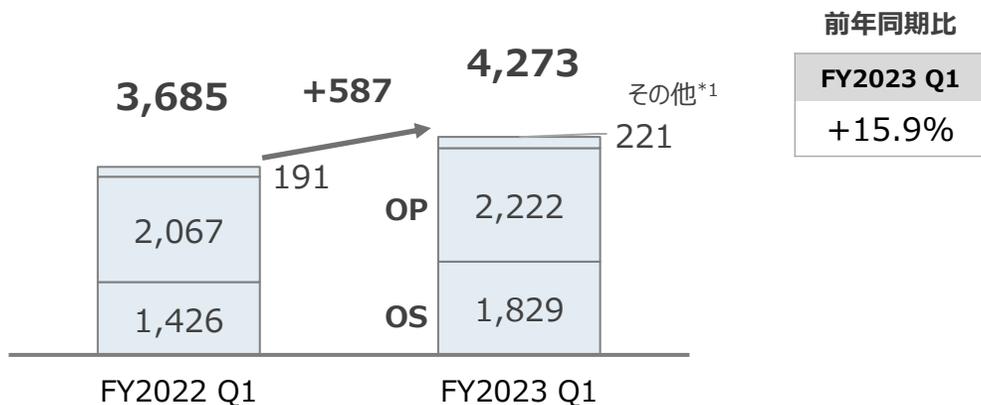
また、2022年度第3四半期より、リコーデジタルプロダクツにリコーインダストリアルソリューションズのエレクトロニクス事業を移管。2022年度についても遡及適用。

# リコーデジタルサービス

オフィスサービスが引き続き利益成長を牽引

オフィスプリンティングも供給制約からの回復や注残解消、プライシングコントロール等により増収増益

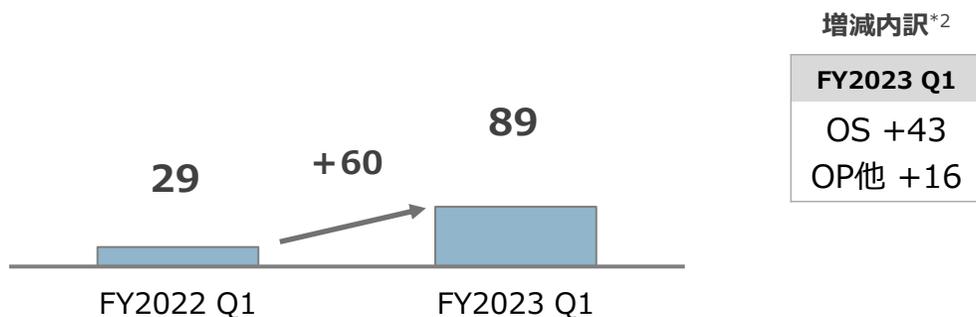
## 売上高 (億円)



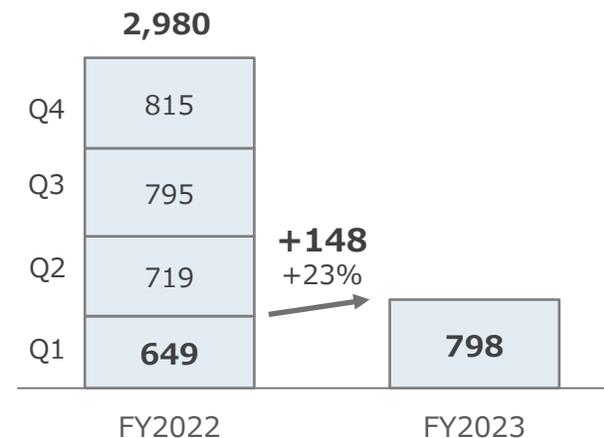
## 概況

- オフィスプリンティング（販売）  
ハード 10%増収(除為替影響)  
ノンハード 1%減収(除為替影響)
- オフィスサービス  
ITサービス・アプリケーションサービス中心に増収  
ストック売上は23%増収、着実に収益基盤積み上げ

## 営業利益 (億円)



## OSストック売上 (億円)



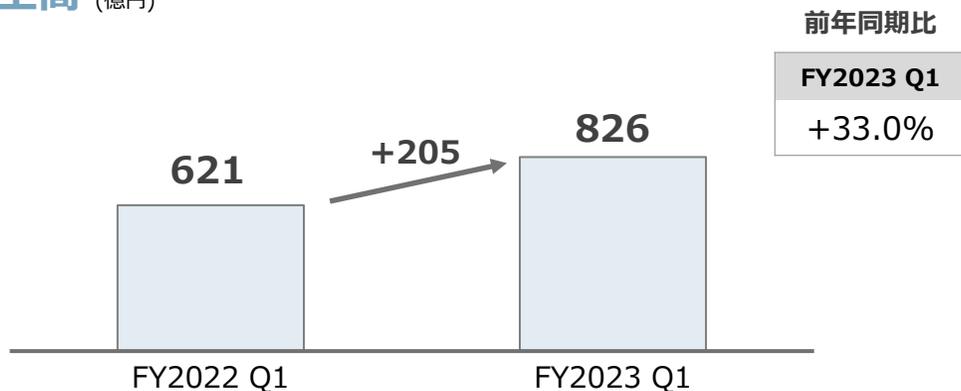
※その他に計上していたPFU事業の一部をリコーデジタルサービスに移管。  
また、オフィスプリンティングに計上していた一部事業をオフィスサービスに移管。2022年度についても遡及適用。

\*1 環境ソリューション、産業ソリューションなど  
\*2 社内管理の利益に基づき試算

# リコーデジタルサービス オフィスサービス概況：日本

バックオフィス系DXなど顧客の関心・ニーズを捉えた販売好調、スクラムシリーズ継続伸長  
IT、アプリケーションサービスでのストック形成が着実に進展

## 売上高 (億円)



## 分野別動向 (億円)

(為替影響除く)

FY2023 Q1	売上高	前年同期比
オフィスサービス 計	826	+33%
ITインフラ (ハード・ソフト)	353	+40%
ITサービス	216	+56%
アプリケーションサービス	207	+14%
コミュニケーションサービス	38	-0%
BPS	9	+8%

- スクラムパッケージ (中小企業ターゲット)
  - ✓ 売上高前年比127%、順調に伸長
  - ✓ 電帳法対応、BCP対策支援などのバックオフィス系やセキュリティ関連の好調が続く
- スクラムアセット (中堅企業ターゲット)
  - ✓ 売上高前年比198%、引き続き強い伸び
  - ✓ 帳票処理自動化、セキュリティ関連が好調
- RICOH kintone plus
  - ✓ 契約数は順調に伸長
  - ✓ セールス育成が進み体制強化、販売加速を狙う

## スクラムシリーズ実績

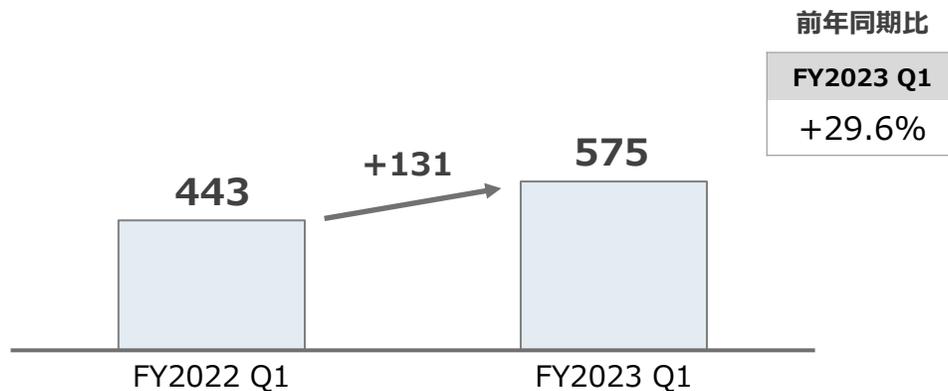
FY23 Q1 売上	(億円)	前年同期比
スクラムパッケージ	120	127%
スクラムアセット	120	198%
合計	240	155%

FY23 Q1 販売本数	(本)	前年同期比
スクラムパッケージ	19,458	112%

# リコーデジタルサービス オフィスサービス概況：欧州

アプリケーションサービス・コミュニケーションサービスが順調に成長

## 売上高 (億円)



## 分野別動向 (億円)

(為替影響除く)

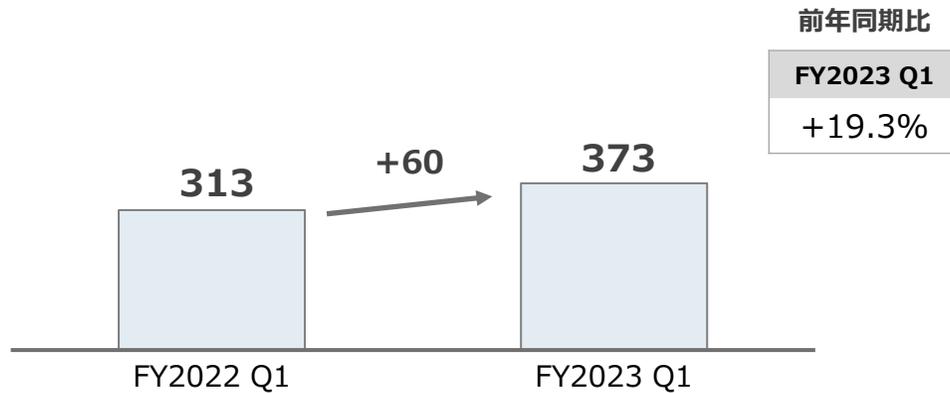
FY2023 Q1	売上高	前年同期比
オフィスサービス 計	575	+20%
ITインフラ (ハード・ソフト)	228	+25%
ITサービス	147	+14%
アプリケーションサービス	72	+21%
コミュニケーションサービス	67	+48%
BPS	59	-5%

- 買収企業は好調継続
  - ✓ 買収企業 45%増収 (オーガニック 16%増収)
  - ✓ PFH (アイルランド) を買収し、欧州のITサービスを強化
- DocuWareが好調でアプリケーションサービス増収、ストックへ貢献
  - ✓ 契約数は順調に拡大
  - ✓ 販売実績のあるセールスが着実に増加
- コミュニケーションサービスは前年度買収の Pure AV / AVCが業績貢献

# リコーデジタルサービス オフィスサービス概況：米州

Cenero社中心にコミュニケーションサービス拡大、デジタルサービスを拡充

## 売上高 (億円)



## 分野別動向 (億円)

(為替影響除く)

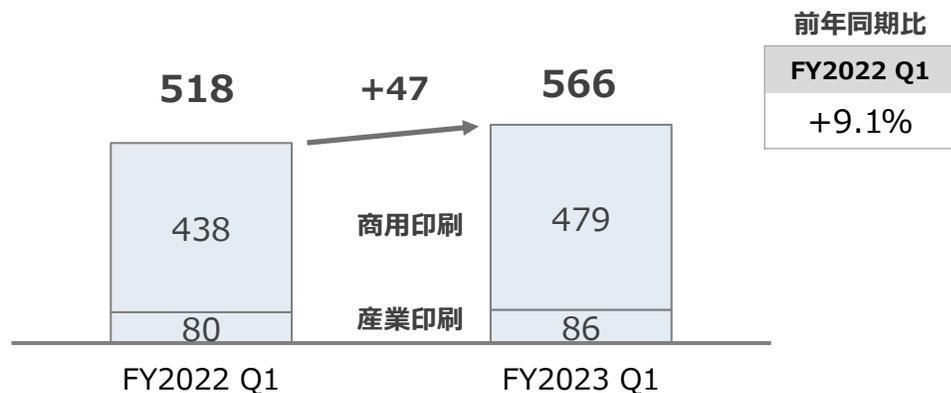
FY2023 Q1	売上高	前年同期比
オフィスサービス 計	373	+13%
ITインフラ (ハード・ソフト)	14	-16%
ITサービス	37	+0%
アプリケーションサービス	51	+16%
コミュニケーションサービス	37	+436%
BPS	232	+3%

- BPS堅調
  - ✓ 重点業種 (医療・金融・小売・保険・製造) 向けのサービス継続強化
  - ✓ 新サービス展開と収益性の向上に取り組む
- アプリケーションサービス前年伸長
  - ✓ オフィスプリンティング回復に合わせ、ドキュメントソリューション好調
  - ✓ RICOH Kintone plus拡販に向け販売体制構築
- コミュニケーションサービスはCenero社連結で増加

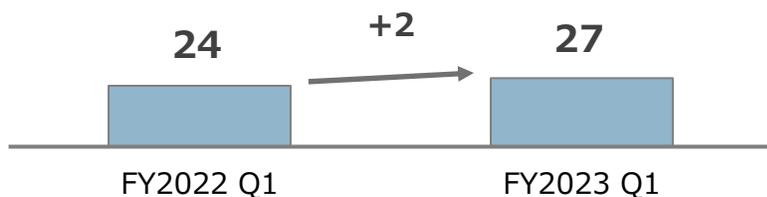
# リコーグラフィックコミュニケーションズ

増収増益、構造改革は計画通り進捗

## 売上高 (億円)



## 営業利益 (億円)



## 概況

### ● 商用印刷

ハード : 前年度末の反動によりQ1の売上成長は緩やか  
デジタル印刷への投資意欲は継続、パイプライン充実  
新製品「RICOH Pro C9500」を8月に発売予定

ノンハード : 継続伸長、コロナ前水準を超える

### ● 産業印刷

IJヘッド : 積層ヘッドの需要旺盛、増収継続

## CP売上前年同期比 (為替影響除く)

### ハード・ノンハード別

	FY22				FY23
	Q1	Q2	Q3	Q4	Q1
ハード	114%	121%	129%	137%	105%
ノンハード	110%	108%	102%	105%	104%

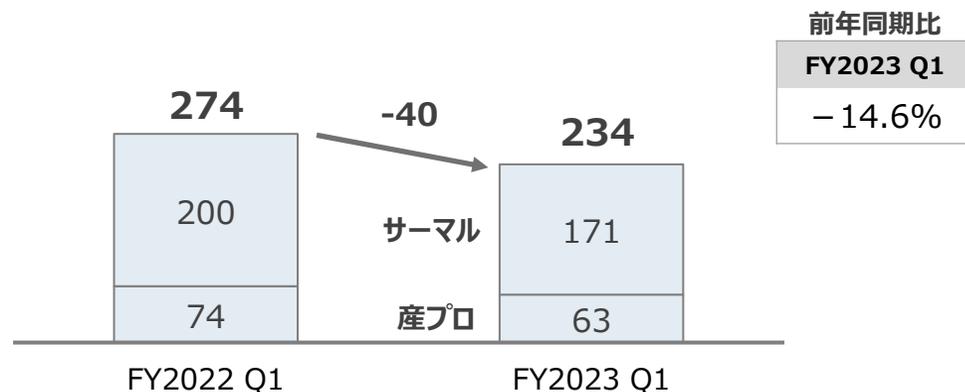
### 地域別

日本	103%	105%	95%	111%	88%
米州	112%	112%	119%	122%	106%
欧州	116%	112%	104%	120%	102%

# リコーインダストリアルソリューションズ

サーマル事業の市場在庫調整、一部用途での需要弱含み等により減収減益

## 売上高 (億円)



## 営業利益 (億円)



## 概況

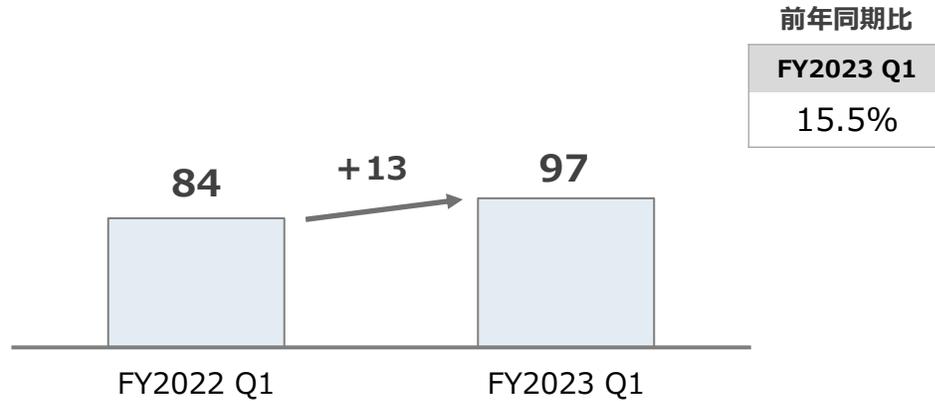
- サーマル
  - ✓ 欧米で市場在庫調整が継続、想定未達
  - ✓ 購買・生産効率化によるコストダウンおよびプライシングコントロールを継続
  - ✓ 日本でのラベルレスサーマルなど完成品までのトータルソリューションの提供に取り組む
- 産業プロダクツ
  - ✓ オプティカルのプロジェクタは中国景気停滞で減収
  - ✓ 自動車関連は回復

※2022年度第3四半期より、エレクトロニクス事業をリコーデジタルプロダクツに移管。2022年度についても遡及適用。

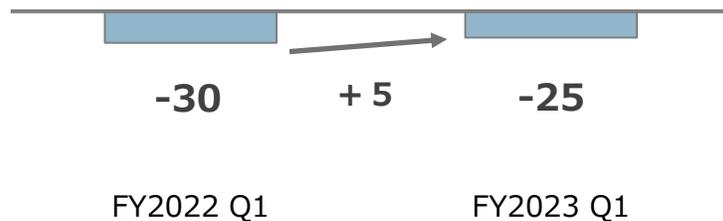
# その他

カメラ事業は好調を維持、新規事業分野では支出削減

## 売上高 (億円)



## 営業利益 (億円)



## 概況

- カメラ事業の好調継続  
“工房的”ものづくりの手法による新製品  
「PENTAX K-3 Mark III Monochrome」発売
- 創薬支援  
治験薬製造受託サービスは顧客開拓が進む
- PLAiR(植物由来プラスチックの新素材)  
ブランドオーナー開拓・国内量産体制整備進む
- IJ電池  
Jetting技術を応用した電池材料の印刷製造ビジネスの検討  
アライアンス進展により来期の収益貢献を計画

※その他に計上していたPFU事業をリコーデジタルサービス、リコーデジタルプロダクツに移管。

# 連結財政状態計算書

総資産は為替影響除くと実質305億円減少

棚卸資産について、販売在庫は注残解消が進み減少、先行調達やBCP対応で工場在庫を形成

## 資産の部

(単位:億円)	2023年 6月末	23/03末比 増減額	
流動資産	<b>11,799</b>	+46	
現金及び預金	<b>1,927</b>	-293	戦略投資等
営業債権及びその他の債権	<b>4,572</b>	-191	
その他の金融資産	<b>1,040</b>	+101	
棚卸資産	<b>3,424</b>	<b>+280</b>	販売在庫減少 工場在庫形成
その他の流動資産	<b>835</b>	+150	
非流動資産	<b>10,338</b>	+591	
有形固定資産	<b>2,006</b>	+41	
使用権資産	<b>581</b>	+11	
のれん及び無形資産	<b>4,011</b>	<b>+347</b>	戦略投資 (欧州ICT投資等)
その他の金融資産	<b>1,472</b>	+121	
その他の非流動資産	<b>2,266</b>	+70	
資産合計	<b>22,137</b>	+638	

## 負債及び資本合計の部

(単位:億円)	2023年 6月末	23/03末比 増減額
流動負債	<b>8,581</b>	+290
社債及び借入金	<b>1,712</b>	+134
営業債務及びその他の債務	<b>2,842</b>	-281
リース負債	<b>266</b>	+4
その他の流動負債	<b>3,759</b>	+432
非流動負債	<b>3,445</b>	-182
社債及び借入金	<b>1,774</b>	<b>-276</b>
リース負債	<b>407</b>	+26
その他の金融負債	<b>311</b>	+35
退職給付に係る負債	<b>414</b>	+3
その他の非流動負債	<b>537</b>	+28
負債合計	<b>12,026</b>	+107
親会社の所有者に帰属する 持分合計	<b>9,853</b>	+537
非支配持分	<b>258</b>	-7
資本合計	<b>10,111</b>	+530
負債及び資本合計	<b>22,137</b>	+638
有利子負債合計*	<b>3,487</b>	-142

\*有利子負債：社債及び借入金

(参考) 期末日為替レート： US\$ 1 = ￥ 144.99 (+11.46)  
EURO 1 = ￥ 157.60 (+11.88)

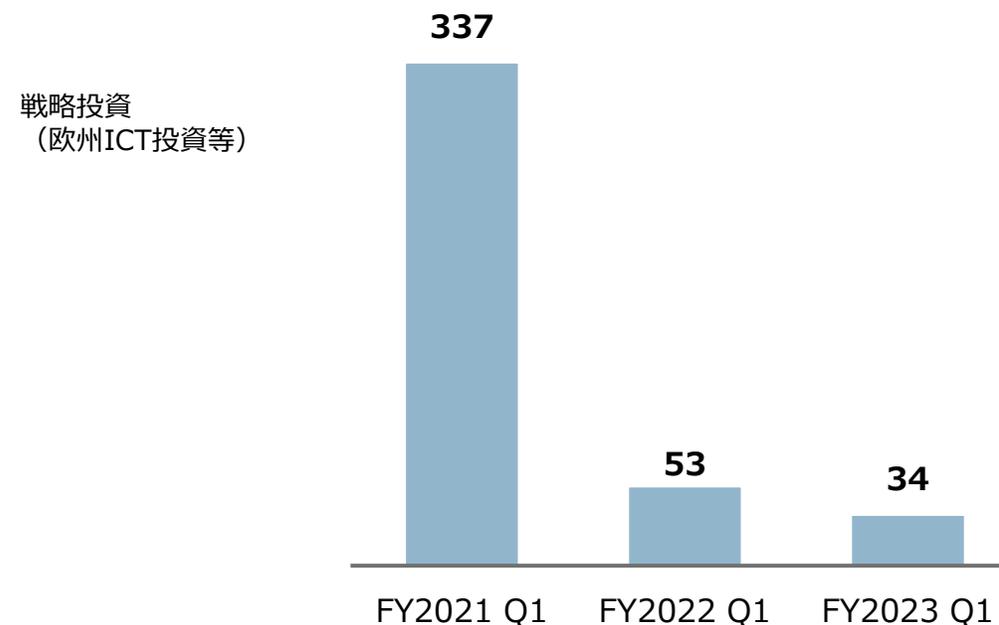
(23/03末比増減)

# 連結キャッシュフロー計算書

フリーキャッシュフローは、欧州ICT企業買収など戦略投資等により前年比減少

(単位:億円)	FY2022 Q1	FY2023 Q1
当期利益	76	85
減価償却費	226	257
その他の営業活動	-104	1
営業活動によるキャッシュフロー	198	344
有形固定資産の取得及び売却	-66	-103
事業の買収	-7	-131
その他の投資活動	-71	-75
投資活動によるキャッシュフロー	-145	-310
有利子負債*の純増減 <small>*社債及び借入金</small>	210	-233
支払配当金	-82	-103
自己株式の取得	-118	-0
その他の財務活動	-80	-87
財務活動によるキャッシュフロー	-70	-424
換算レートの変動に伴う影響額	111	85
現金及び現金同等物の純増減額	94	-304
現金及び現金同等物期末残高	2,434	1,804
フリーキャッシュフロー(営業C/F+投資C/F)	53	34

フリーキャッシュフロー推移 (単位:億円)



# 2023年度通期見通し

# 2023年度見通し <主要指標>

期初見通しから変更なし

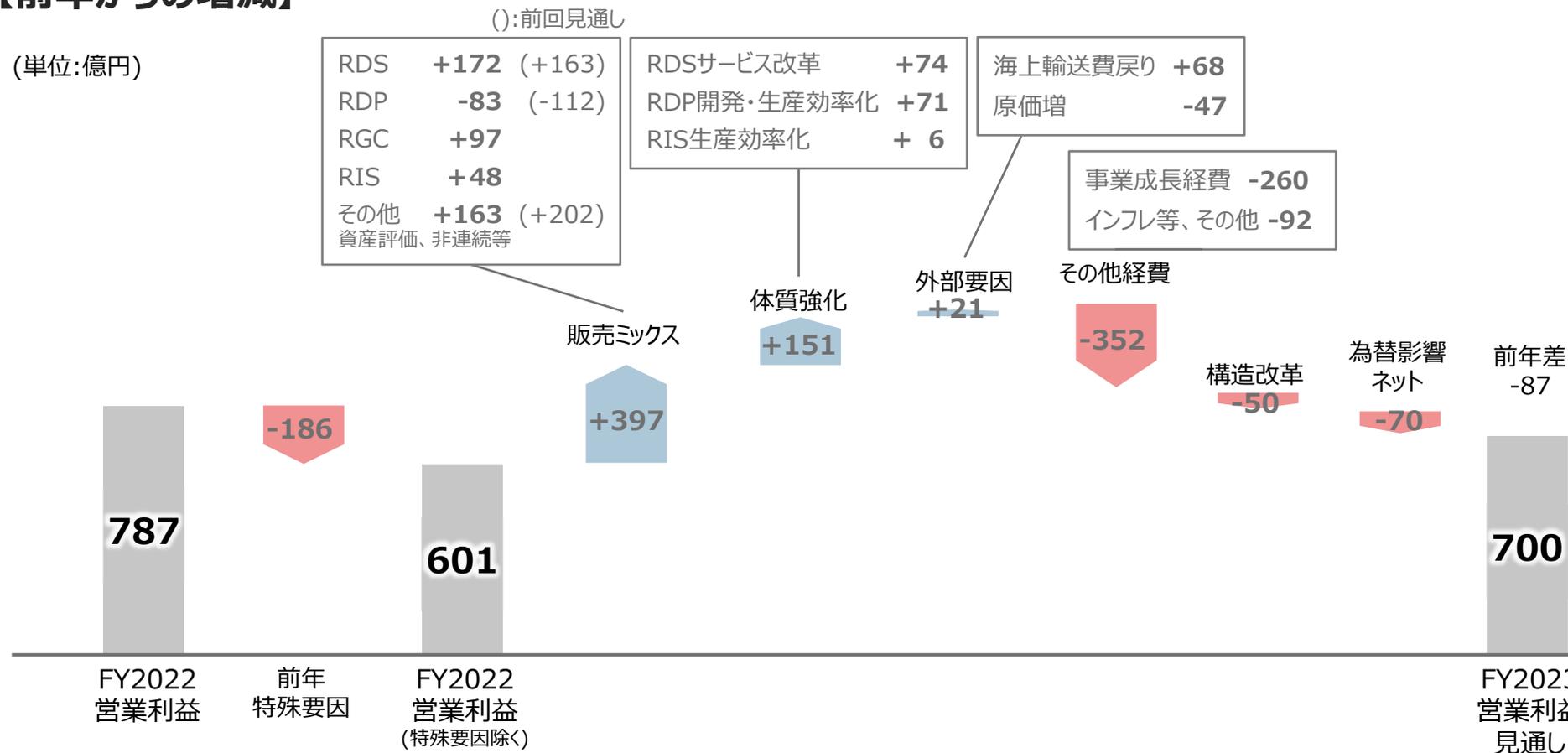
**RICOH**  
imagine. change.

	2022年度 実績	2023年度 見通し	22年度比	
売上高	21,341億円	<b>22,500</b> 億円	+5.4%	
売上総利益	7,454億円	7,900億円	+6.0%	
販管費等	6,666億円	7,200億円	+8.0%	
営業利益	787億円	<b>700</b> 億円	-11.1%	
営業利益率	3.7%	3.1%	-0.6pt	
親会社の所有者に帰属する 当期利益	543億円	500億円	-8.0%	
EPS	88.13円	<b>82.09</b> 円	-6.04円	
ROE	5.9%	<b>5.3%</b>	-0.6pt	
ROIC	4.9%	<b>4.1%</b>	-0.8pt	
期中平均 為替レート	1USDル 117-0	135.49円 140.91円	125円 135円	-10.49円 -5.91円
研究開発投資	1,077億円	1,080億円	+2億円	
設備投資(有形固定資産)	454億円	480億円	+25億円	
減価償却費(有形固定資産)	419億円	430億円	+10億円	

# 2023年度見通し 要因別営業利益

✓ 販売ミックスの内訳を変更：PFUおよび一部共通費用を「その他」から「RDS」「RDP」にそれぞれ区分変更

## 【前年からの増減】



### 主な指標

#### RDS オフィスプリンティング

売上前年比   ハード   107%  
                  ノンハード   99%

#### RDS オフィスサービス

スクラムパッケージ売上   611億円  
スクラムアセット売上   679億円

参考 為替感応度\*

(億円)	売上	営業利益
USD	44	1
ユーロ	38	10

\*1円の変動による年間影響額

# セグメント別 売上・営業利益

✓ PFUおよび一部共通費用を「その他」から「RDS」「RDP」にそれぞれ計上

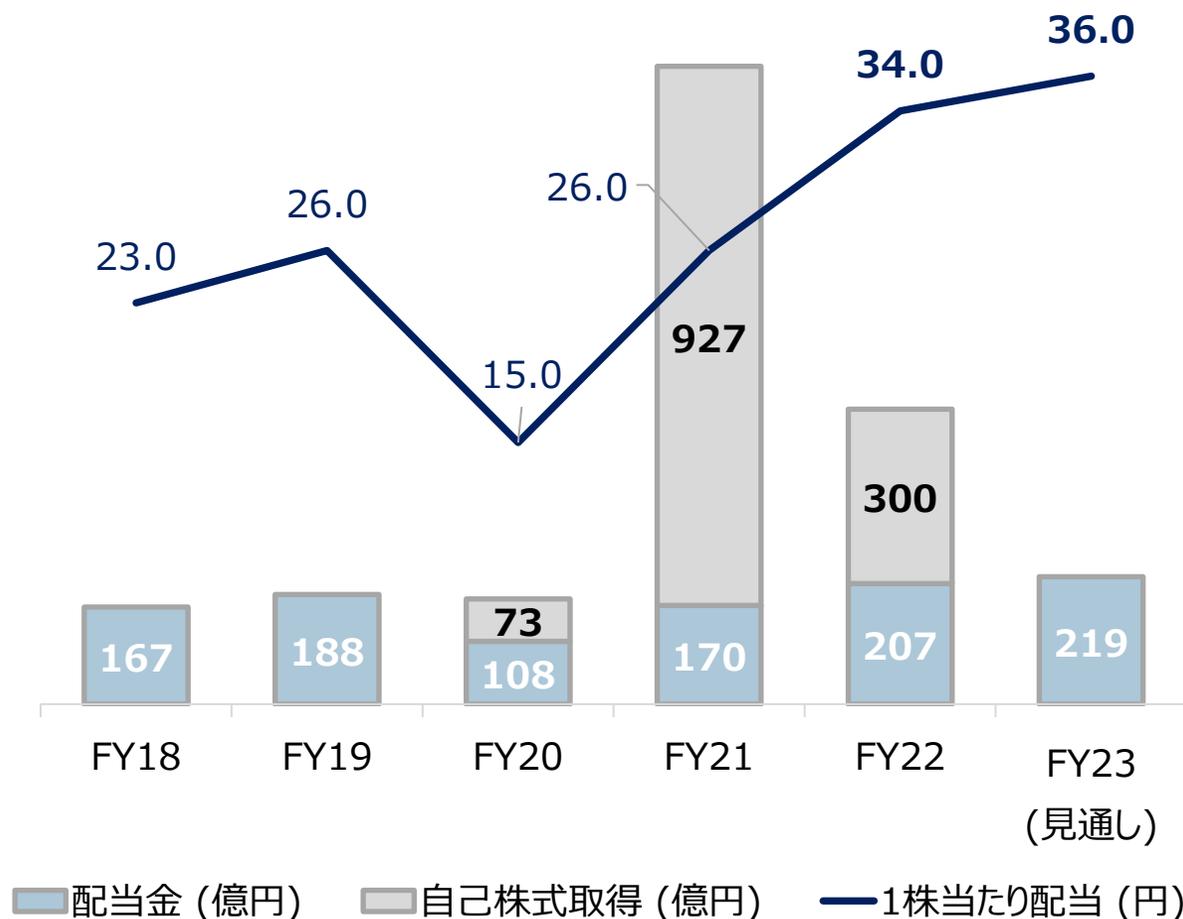
(単位：億円)		FY2022 実績 (前回)	FY2022 実績 (変更後)	FY2023 見通し (前回)	FY2023 見通し (変更)	前回差	
リコーデジタルサービス	売上	16,504	16,843	17,000	17,503	+503	✓ オフィスプリンティングではプライシングコントロール含めたハード改善、ノンハード(保守・サプライ)減少 ✓ オフィスサービスの事業成長加速
	営業利益	282	313	370	379	+9	
リコーデジタル プロダクツ	売上	4,403	4,934	4,540	5,266	+726	✓ 生産諸施策による安定供給と体質強化の推進 ✓ A4MFP増による製品ミックス・ハード在庫調整 ✓ ノンハード(サプライ)減少
	営業利益	315	347	280	309	+29	
リコーグラフィック コミュニケーションズ	売上	2,348	2,348	2,530	2,530	0	✓ 新製品投入による事業拡大 ✓ 拠点再編による構造改革 ✓ 開発費償却
	営業利益	145	145	15	15	0	
リコーインダストリアル ソリューションズ	売上	1,163	1,163	1,420	1,420	0	✓ サーマルの事業環境改善を期待 ✓ プライシングコントロール効果刈り取り
	営業利益	31	31	84	84	0	
その他 (カメラ、新規事業他)	売上	1,277	405	1,730	501	-1,229	✓ ポートフォリオマネジメント
	営業利益	-32	-94	-30	-69	-39	
全社・消去	売上	-4,355	-4,353	-4,720	-4,720	0	✓ 前年度に資産売却益
	営業利益	43	43	-19	-19	0	
合計	売上	<b>21,341</b>	<b>21,341</b>	<b>22,500</b>	<b>22,500</b>	<b>0</b>	
	営業利益	<b>787</b>	<b>787</b>	<b>700</b>	<b>700</b>	<b>0</b>	

# 株主還元

期初見通しから変更なし

**RICOH**  
imagine. change.

- 総還元性向50%を目安とする方針
- 継続的な増配と自己株式取得によるEPSの向上  
2023年度の配当の予定：年間36円に増配  
(中間18円 期末18円)
- キャッシュフローアロケーションを継続検証し、  
経営環境や成長投資の状況を踏まえつつ  
機動的に資本政策を実行



**補足資料**

# セグメント概要

セグメント	主な事業・機能	主な製品・サービス
<b>リコーデジタル サービス RDS</b>	オフィスサービス (OS)	ITインフラ (ハード含む) 、ITサービス、アプリケーションサービス、 コミュニケーションサービス (ハード含む) 、BPS (Business Process Services)
	<b>オフィスプリンティング (OP)</b> [販売]	<b>ハード：MFP、プリンタ</b> <b>ノンハード：消耗品、サービス・サポート</b>
	その他	各地域での独自に展開するビジネス (環境エネルギー、サービスアドバンテージ、他)
<b>リコーデジタル プロダクツ RDP</b>	<b>オフィスプリンティング (OP)</b> [開発・生産]	<b>ハード：MFP、プリンタ、コミュニケーションデバイス</b> <b>ノンハード：消耗品</b> <b>その他：スキャナ、電装ユニット</b>
<b>リコーグラフィック コミュニケーションズ RGC</b>	商用印刷 (CP)	ハード：プロダクションプリンタ ノンハード：消耗品、サービス・サポート
	産業印刷 (IP)	ハード：IJヘッド、産業プリンタ ノンハード：消耗品、サービス・サポート
<b>リコーインダストリアル ソリューションズ RIS</b>	サーマル	サーマルペーパー、熱転写リボン、ラベルレスサーマル
	産業プロダクツ	産業用光学部品、精密機器部品、産業設備

RDSへの  
セグメント間売上  
および OEM

# 主要施策のKPI

分野	KPI	FY21	FY22	FY23		
		実績	実績	期初見通し 年間	Q1の進捗・実績	
RDS (OP)	ハード売上 前年同期比 (除為替影響)	売上	96%	111%	107%	110%
	ノンハード売上 前年同期比 (除為替影響)	売上	104%	101%	99%	99%
	サービス改革	経費削減	130億円	101億円	74億円	19億円
RDS (OS)	日本：スクラムパッケージ	売上	484億円	494億円	611億円	120億円
	日本：スクラムアセット	売上	313億円	577億円	679億円	120億円
	ストックビジネス	売上	-	2,980億円	※FY25 目標 3,800億円 /CAGR 8%	798億円
RDP	開発・生産効率化	経費削減	122億円	58億円	71億円	12億円
RIS	生産効率化	経費削減	130億円	101億円	6億円	1億円

# デジタルサービスの会社へ向けて

**デジタルサービス売上比率**  
現場のデジタル化 オフィスのデジタルサービス

**FY22**  
**44%**  
7% 37%

**FY23 Q1**  
**45%**  
7% 38%

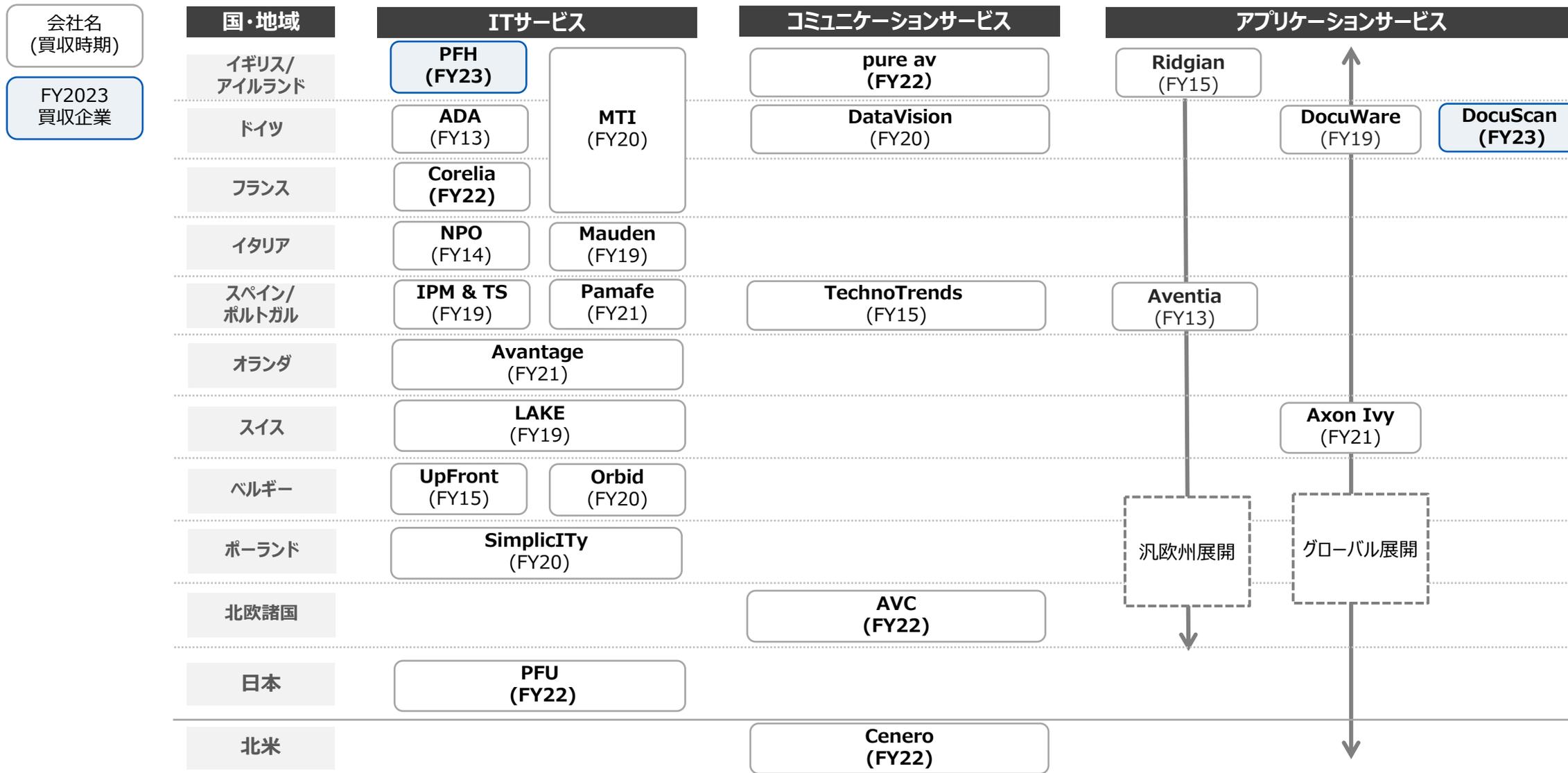
**FY25目標**  
**60%超**  
13% 50%  
オフィスサービスの成長を中心に実現  
全体も伸長



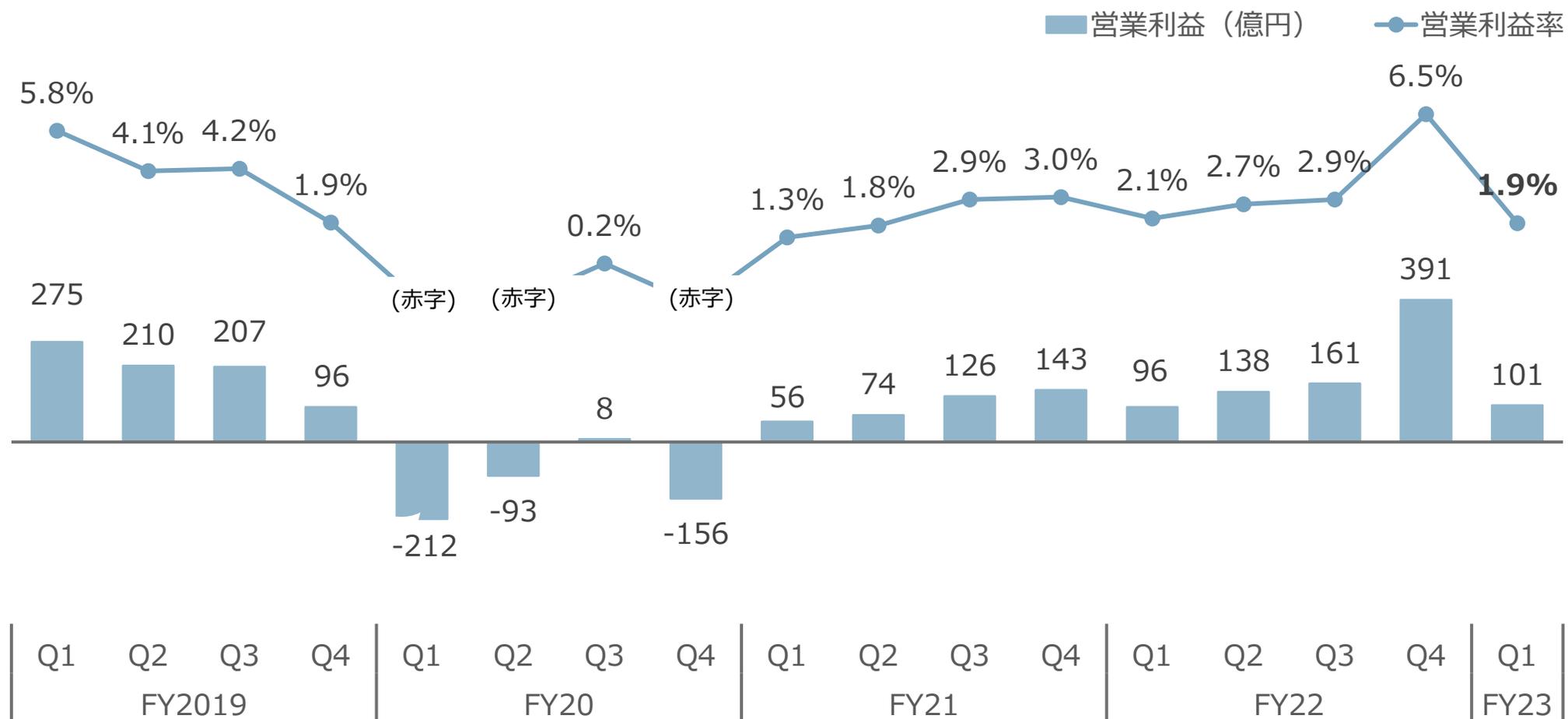
**現場のデジタル化**

**オフィスの  
デジタルサービス**

# 各地域 体制強化の進捗状況



# 四半期営業利益推移



## オフィスプリンティング

(為替影響除く)

売上高 前年同期比	FY2022				FY23
	Q1	Q2	Q3	Q4	Q1
ハード	96%	106%	117%	124%	<b>110%</b>
ノンハード	101%	103%	100%	100%	<b>99%</b>

## 地域別（ハード+ノンハード）

(為替影響除く)

売上高 前年同期比	FY2022				FY23
	Q1	Q2	Q3	Q4	Q1
日本	98%	107%	100%	108%	<b>100%</b>
米州	119%	133%	113%	110%	<b>103%</b>
欧州	107%	105%	106%	110%	<b>105%</b>

## オフィスサービス

売上高（億円）	FY2022				FY23	前年同期比 (為替除)
	Q1	Q2	Q3	Q4	Q1	
オフィスサービス	1,426	1,694	1,858	2,199	<b>1,829</b>	+24%
ITインフラ	457	543	629	812	<b>615</b>	+30%
ITサービス	302	372	421	475	<b>410</b>	+31%
アプリケーションサービス	289	329	327	440	<b>343</b>	+16%
コミュニケーションサービス	94	146	171	168	<b>154</b>	+56%
BPS	282	302	308	303	<b>305</b>	+2%

## 各分野における主な事業内容

### ITインフラ：

IT環境構築やセキュリティサービス提供に伴う、ハード・ソフトの売上。主に仕入れ

### ITサービス：

IT環境構築やセキュリティサービス提供に伴う、導入・構築・運用保守

### アプリケーションサービス：

自社製・仕入れのアプリケーションソフトの導入・構築・運用保守  
 自社ソフトウェアには、DocuWareやRICOH kintone plus、ドキュメントソリューション製品など

### コミュニケーションサービス：

コミュニケーション環境構築に伴う、導入・構築・運用保守、マネージドサービス  
 自社エッジデバイスの販売含む

### BPS（Business Process Services）：

顧客出力センターの受託ビジネスと、その顧客基盤を活用した新規サービス等

# オフィスサービス評価

2023年 6月 リコージャパン、「CYBOZU AWARD 2023」セールス部門賞、インテグレーション部門賞およびエリア賞2部門を受賞  
リコージャパン、マイクロソフト ジャパン パートナー オブ ザ イヤー 2023受賞

## ESGアップデート

### 主な外部評価

- 2023年 4月 GPIFの国内株式運用機関が選ぶ「優れたTCFD開示」に選定
- 6月 「アジア太平洋地域気候変動リーダー企業」に2年連続で選出
- 7月 GPIFが採用する6つのESG指数（国内株式）すべてに選定 GPIF採用指数外でも、FTSE4Good Index」に20年連続選定

### 主な取組み実績

- 2023年 4月 企業理念を改定、「“はたらく”に喜びを」を「使命と目指す姿」に定める  
リコーグループにおけるマテリアリティ(重要社会課題) を改訂し、21次中期経営戦略のESG目標を設定・公開  
リコーグループ サプライヤー・パートナー行動規範 を改訂発行
- 6月 三井住友信託銀行とポジティブ・インパクト・ファイナンスの融資契約を2年連続で締結  
みずほ銀行と「Mizuho Eco Finance」の融資契約を締結
- 7月 スコープ3の削減シナリオを策定しGHG排出削減を強化 カテゴリー4(輸送)におけるGHG排出量をグローバルに可視化・削減  
リコージャパン、「サステナビリティレポート2023」「SDGsコミュニケーションブック2023」を発行

**RICOH**  
imagine. change.